

# **c o n t e n t s**

1. はじめに	2
2. 動作環境	4
3. インストールと削除	6
4. メインウィンドウ	8
5. 外字の作成方法	10
6. 外字の登録	22
7. 外字の入力方法	26
8. 文字作成例	28
9. カスタマーサービス	34



## 1 はじめに

この度は、「DynaFont Gaiji Editor」をご購入いただき、誠にありがとうございます。

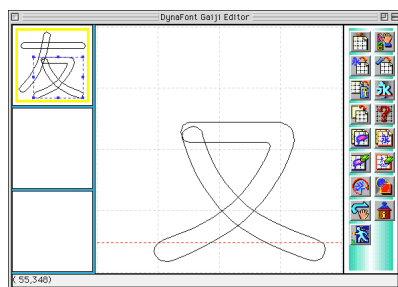
DynaFont Gaiji Editorは、コンピュータ上にない特殊な文字(外字)を手軽に作成していただくためのツールです。ダイナラボ社が特許を取得したストロークベースというフォント生成技術を外字作成に応用することによって、美しい外字を簡単に作成できるようになっています。

ご使用につきましては、使用許諾契約書、本ユーザズマニュアルをよくお読みいただいた上でご使用いただきますようお願いいたします。また、ユーザ登録は同梱のユーザ登録用紙でのFAX送信及びホームページ(<http://www.dynalab.co.jp>)にて登録をお受けしております。

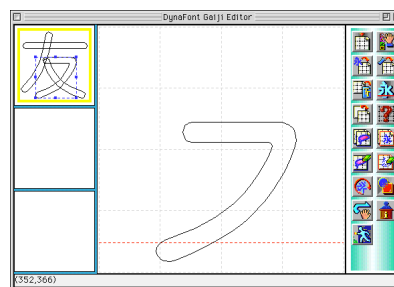
### 1-1 DynaFont Gaiji Editorの特徴

- 一画(ストローク)単位での編集が可能

DynaFont Gaiji Editorの外字の作成方法は、点や線を使って一から形を描く方法ではなく、既存の文字から利用したい部分を取り出して組み合わせる方法です。ダイナラボ社開発の「ストロークベースフォント」は、通常のアウトラインフォントと異なり、一筆一筆(ストローク)の単位で文字パーツを取り出したり編集することができ外字作成に大変便利です。



パーツ取り出し



ストローク単位で取り出し

- 約300 種のストロークを搭載  
DynaFont Gaiji Editorには「ストロークツール」が搭載されています。ストロークツールは漢字を構成するさまざまな筆画を外字作成のパーツとしてあらかじめ用意したものです。1 書体約300種のストロークの中から必要なものを選んで、ストローク同士を組み合わせたり、他の文字の一部と組み合わせて外字を作成することができます。
- ダイナフォントを字源とする高品質な外字  
外字を作成するための字源として、ストローク単位での編集が可能なダイナフォント10書体が同梱されています。ストローク単位での外字編集を採用しているため、ダイナフォントの書体デザインが維持されたままの美しい外字の作成ができます。
- 使いやすさの工夫  
参照する文字を表示する「入力エリア」が3つあり、既存の文字を同時に3つ参照しながら外字を編集できます。また、パーツ、ストロークの取り出しや拡大縮小がマウスのドラッグで簡単にできます。

## 1-2 商標について

- 本製品はパッケージ内の使用許諾契約書に従って使用するものとします。
- 改良のため、本製品のデザイン及び仕様は予告なく変更することがあります。
- Apple、Macintosh、MacOS、MacOSロゴは、米国アップルコンピュータ社の商標または登録商標です。
- DynaFontは、DynaLab Inc.の登録商標です。
- 平成書体は(財)日本規格協会文字フォント開発普及センターの知的財産で、各DynaFontは、DynaLab Inc.が使用許諾を受け、開発・販売しています。
- 行書体の著作権は富士ソフトウェア(株)が所有し、DynaFont行書体はDynaLab Inc.が使用許諾を受け、開発・販売しています。
- その他記載されている社名・製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。
- 既存フォントを利用して、本製品で作成した文字は、個人の使用を目的としてご使用ください。それ以外の使用目的の場合は、弊社まで使用許諾範囲をお問い合わせください。
- DynaLab 社所有のストロークベースフォント生成技術は、日本国特許証特許第2562458号によって保護されています。



## 2 動作環境

### 2-1 必要な環境

- MacOS8以降のシステム環境
- 上記システムに必要なRAMを有するPower PCおよびPower PC G3を搭載するMacintosh
- ハードディスク：以下の容量が必要です。
  - ・アプリケーション約10MB
  - ・DynaFont1書体1.7～5.3MB(10書体計28.6MB)
  - ・作成した外字データの容量(1書体約50KB以上)
- CD-ROMドライブ
- ダイナフォント DFP書体(TrueTypeフォント)：同梱されているダイナフォントについては[お読みください]というファイルを参照してください。

### 2-2 外字領域

シフトJIS F040-F9FC(1書体につき1880文字登録可能)

### 2-3 注意事項

- Symantec社製「スーツケース」ユーザの皆様  
Symantec社製「スーツケース」を使用し、ダイナフォントを[システムフォルダ]の[フォント]フォルダに入れずにお使いになっている場合、DynaFont Gaiji Editorでダ

イナフォントに外字を登録することができません。ダイナフォントをシステムフォルダのフォントフォルダに直接コピーしてお使いください。



## 3 インストールと削除

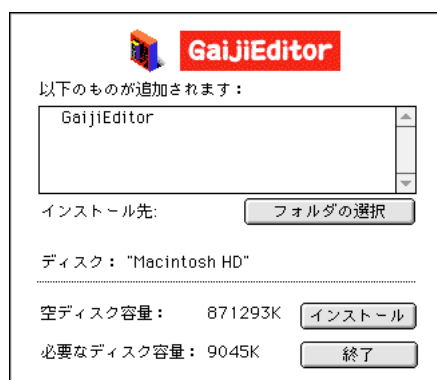
DynaFont Gaiji Editorをインストールする前に、外字作成の字源となるダイナフォントをインストールしておいてください。ダイナフォントのインストール方法についてはCD-ROMの[お読みください]というファイルをご覧ください。付属10書体以外のダイナフォント(DFP書体, TrueTypeフォント)も外字作成に使用できませんがストローク単位での編集はできませんのでご注意ください。

### 3-1 インストール

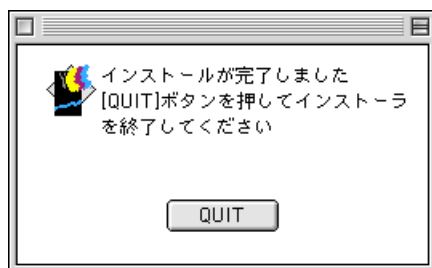
- ①コンピュータの電源を入れ、システムを起動します。
- ②「DynaFont Gaiji Editor」のCD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
- ③[Gaiji Installer]のアイコンをダブルクリックします。起動画面が表示されます。



- ④[続ける]をクリックします。以下のような画面が表示されます。



- ⑤ [Select Folder/Disk] をクリックして、DynaFont Gaiji Editorをインストールしたいフォルダに変更します。
- ⑥ [インストール] ボタンをクリックします。
- ⑦ インストールが終了すると、以下の画面が表示されます。[QUIT] ボタンをクリックします。



### 3-2 削除

DynaFont Gaiji Editorを削除するには、[GaijiEditor] フォルダの中に付属したアンインストーラ [DynaUtility.Del] をお使いになるか、または直接 [GaijiEditor] フォルダをゴミ箱へドラッグします。



- ❗ DynaFont Gaiji Editorを削除しても、作成した外字は削除されません。外字を登録してあるダイナフォントを削除すると作成した外字も同時に削除されます。



## 4 メインウィンドウ

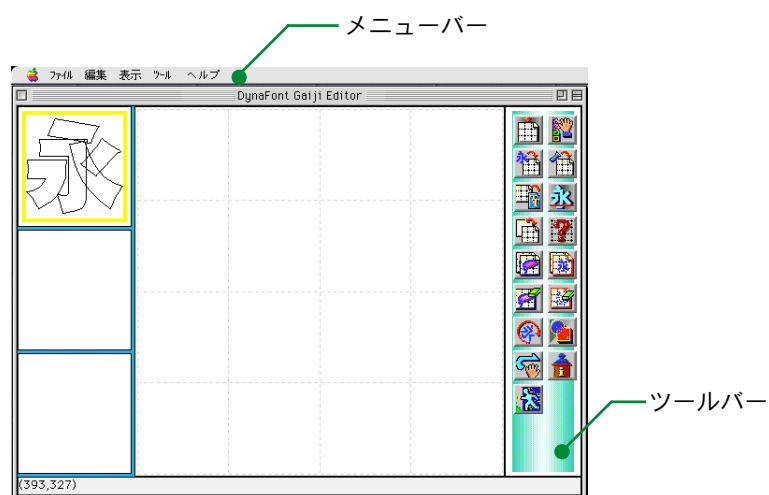
### 4-1 DynaFont Gaiji Editorの起動

[GaijiEditor] フォルダを開き、[GaijiEditor]アイコンをダブルクリックします。DynaFont Gaiji Editorが起動し、メインウィンドウが表示されます。



### 4-2 メインウィンドウ

DynaFont Gaiji Editorのメインウィンドウは以下のようになっています。DynaFont Gaiji Editorの各機能を使うには、メニューバーまたはツールバーから必要な機能を選択します。本書ではメニューバーからの操作を記してありますが、どの機能もツールバー上のアイコンから選択することができます。



## 4-3 ツールバー一覧

	新規作成		ツールバーを隠す
	入力		ストローク
	出力		ベースライン
	グリッド		グリッド設定
	選択範囲コピー		全範囲コピー
	選択範囲削除		画面クリア
	回転		輪郭生成
	元に戻す		バージョン情報
	終了		



## 5 外字の作成方法

DynaFont Gaiji Editorの外字作成の方法は二通りあります。一つは、既存の文字をいくつか参照し、各文字から利用したい部分を取り出して組み合わせる方法です。参照した文字からはストローク(一画)単位で文字のパーツを取り出すことができます。もう一つは、「ストロークツール」を利用する方法で、一書体につき約300個用意された漢字の各種ストロークを組み合わせることにより外字を作成していきます。また、二つの方法を適宜組み合わせて使用すればより効率的に外字を作成することができます。

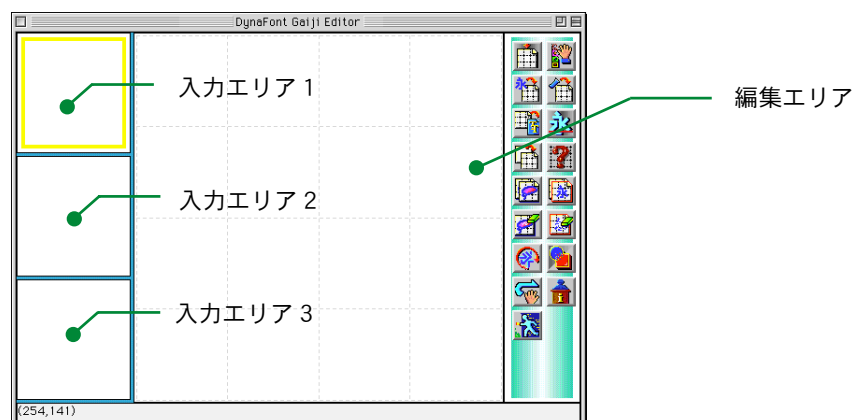


付属10書体以外のダイナフォント(DFP書体、TrueTypeフォント)も外字作成に使用できませんがストローク単位での編集はできませんのでご注意ください。

### 5-1 既存の文字からパーツを取り出す

ここでは既存の文字を参照し、使いたい部分を取り出す方法を説明します。

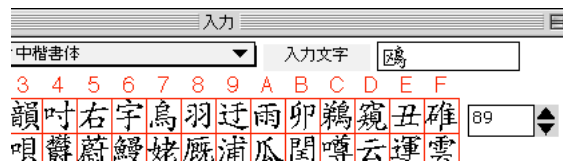
メインウィンドウの左方に縦に三つ並んでいる枠は「入力エリア」です。「入力エリア」に文字(ダイナフォント)を読み込み、その文字を部品として外字を編集します。入力エリアは上から順番に、「入力エリア1」、「入力エリア2」、「入力エリア3」と呼びます。



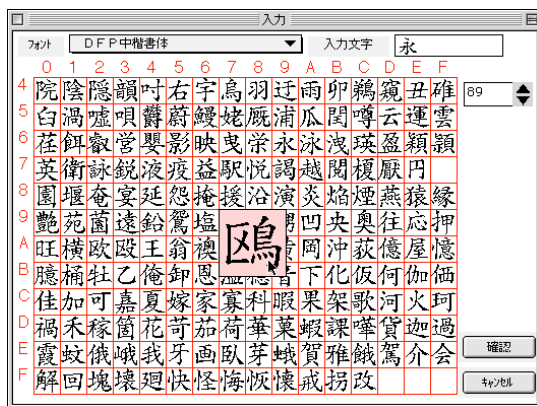
- ①三つある入力画面のうちから参照する文字を読み込む入力エリアを選択します。  
入力エリアの黄色の枠は、その入力エリアが選択されていることを示します。
- ②[ファイル]-[入力] を選択すると、[入力] ウィンドウが現れます。ここで入力エリアに参照する文字を選択できます。



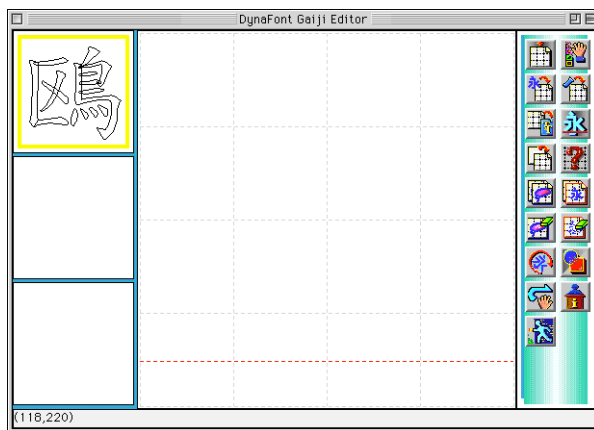
- ③[フォント] ボックスで書体を選択します。その書体に収められた文字がコードテーブルに現れます。
- ④入力文字を選択します。二つの方法があります。  
A [入力文字] ボックスに直接文字を入力します。



B コードテーブルから入力したい文字をクリックします。[入力文字]ボックスに表示されます。



⑤[確認] ボタンをクリックします。入力文字が入力エリアにコピーされます。

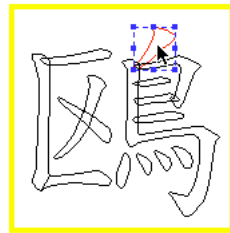


⑥入力エリアの文字を以下のような方法で編集エリアにコピーします。

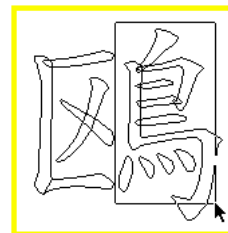
A 部分的にコピーする場合

入力エリアの文字の必要なストローク上でクリック、または必要な部分の周

りをマウスで四角で囲むようにドラッグすると、選択した部分が点線の四角で囲まれます。選択を解除するには、入力エリア上の選択されている部分以外の何も無い部分をクリックします。

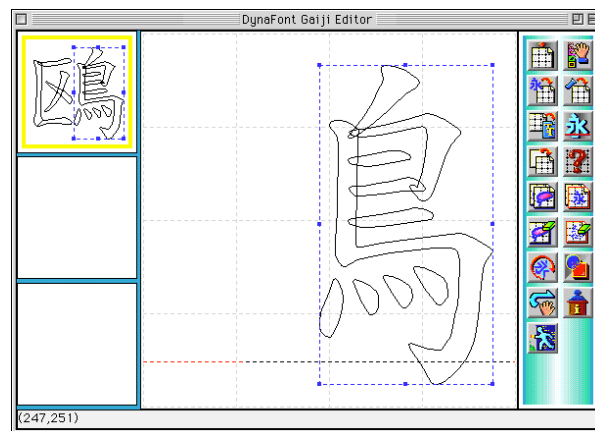


ストローク上で  
クリックし選択

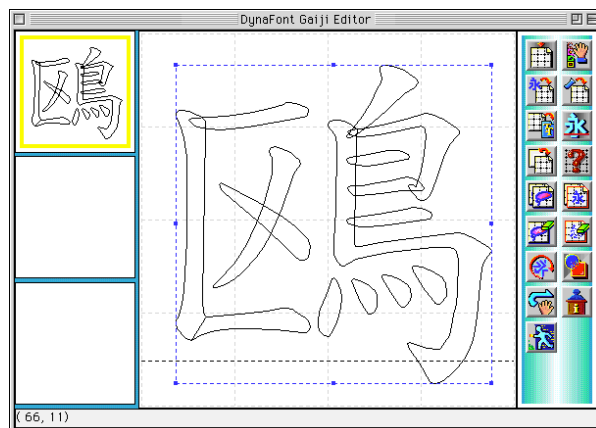


四角で囲むように  
ドラッグし選択

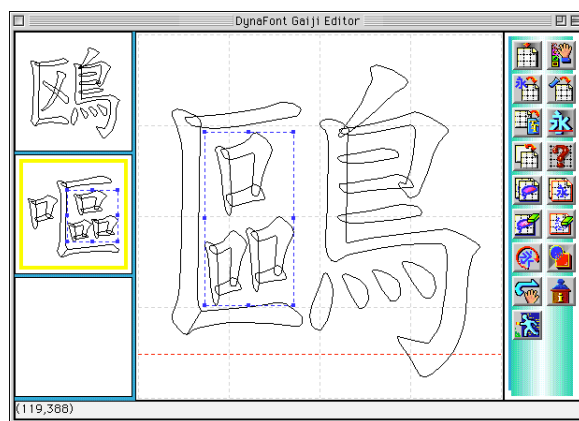
選択した部分を編集エリアへドラッグします。または[編集]-[選択範囲コピー]を選択します。選択した部分が編集エリアにコピーされます。



B 入力エリアの文字をすべてコピーする場合  
[編集]-[全範囲コピー]を選択します。

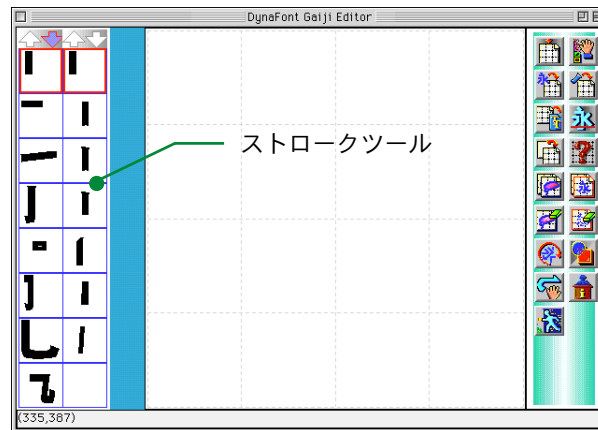


- ⑦他に入力したい文字があれば、入力エリア2と入力エリア3を利用して呼び出します。マウスで入力エリア2をクリックすると、黄色の枠が入力エリア2に移動し入力エリア2が選択されます。次に②～⑥までの手順を繰り返す、必要な部分を編集エリアにコピーし、編集エリアで組み合わせていきます。編集エリアでの外字の編集方法については17ページ「5-3 編集」をご覧ください。

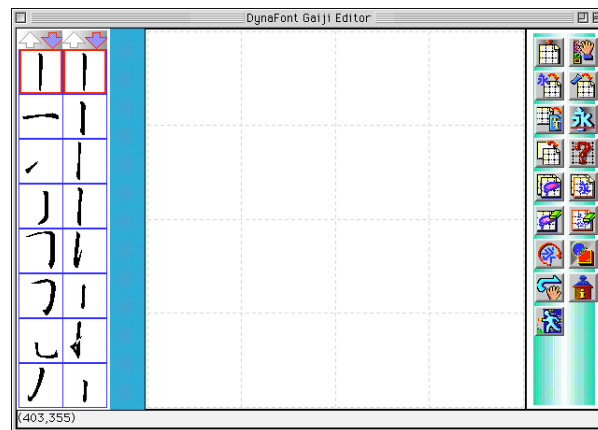


## 5-2 ストロークツールを使用する

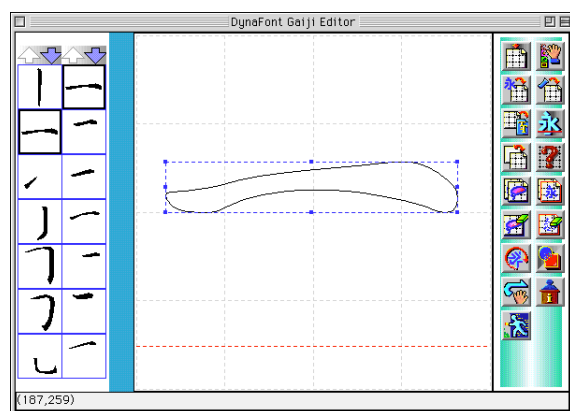
- ① [表示]-[ストローク]を選択します。ストロークツールが表示されます。



他の書体のストロークを使いたい場合は、[ファイル]-[入力]を選択し、[入力]ウィンドウで書体を変更します。



- ②左側のストローク群より必要なストロークに近いものを選択すると右側には類似のストロークがさらに表示されます。
- ③使用したいストロークをクリックし編集エリアにドラッグします。ストロークが編集エリアにコピーされます。



## 5-3 編集

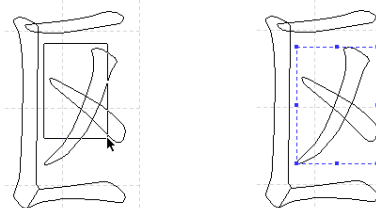
5-1、5-2で編集エリアにコピーしたパーツ、ストロークを以下の機能を使って編集します。

### 【拡大/縮小・移動】

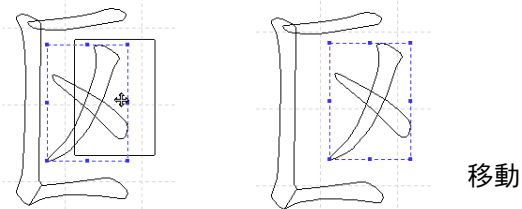
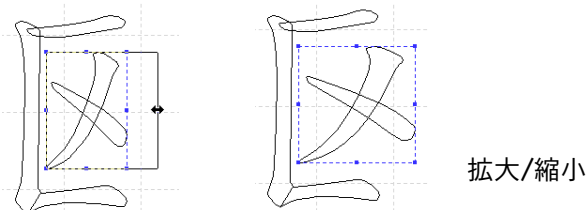
編集エリアに表示されているパーツ、ストロークを拡大/縮小・移動するには、

①拡大/縮小・移動したい部分を選択します。選択した部分が点線の四角で囲まれます。

- パーツを選択するには選択したい部分をマウスのボタンを押したまま囲むように動かします。一画だけのストロークを選択するには、ストローク上でクリックします。



②点線上にポインタをあてマウスのボタンを押しながら動かすと、拡大/縮小できます。点線内にマウスポインタをあてドラッグすると移動できます。



## 【削除】

### [選択範囲削除]

不要なパーツ、ストロークを削除したい場合は、マウスで選択してから [編集]-[選択範囲削除]を選択します。そのパーツ、ストロークは削除されます。

### [画面クリア]

編集エリア上の文字をすべて削除したい場合は、[編集]-[画面クリア]を選択します。

## 【位置の調整】

### [グリッド]、[ベースライン]、[グリッド設定]

グリッドは編集エリアのバックグラウンドにある点線の格子です。ベースラインは編集エリア下方にある赤い点線です。[表示]-[グリッド]または[表示]-[ベースライン]を選択するとそれぞれの表示/非表示の切り替えができます。グリッドとベースラインを利用して文字のスタイルをバランスよく仕上げていきます。また、[ツール]-[グリッド設定]でグリッドの数を最大16まで設定できます。



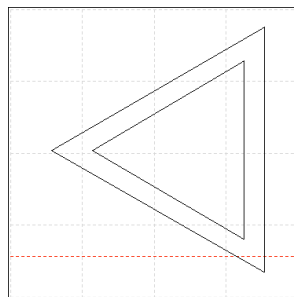
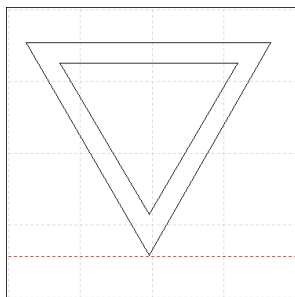
## 【プレビュー】

[ファイル]-[出力]を選択すると、[出力]のウィンドウが現れます。左上に編集エリアに作成した外字が表示され、編集集中の文字のバランスを確かめることができます。



### 【回転】

[ツール] - [回転]で、編集エリアを右へ90度回転できます。



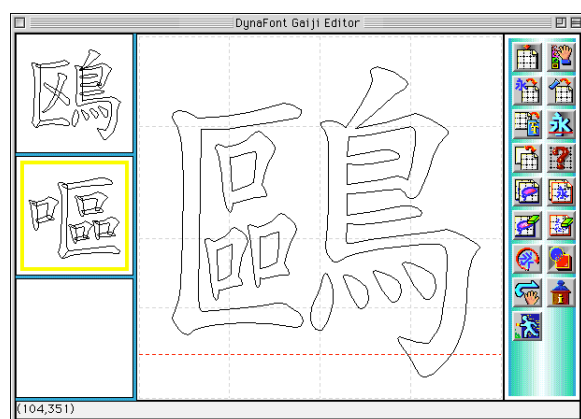
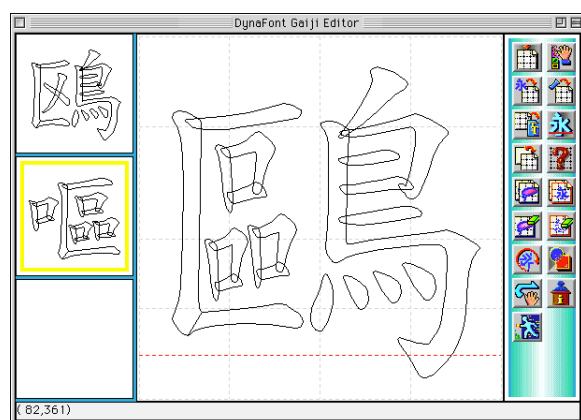
### 【元に戻す】

編集中の文字を1つ前の状態に戻したい時は、[編集] - [元に戻す]を選択します。

## 5-4 輪郭生成

外字の作成が完了した時点で外字を登録する前に、[ツール] - [輪郭生成]を選択し、外字の輪郭を生成します。

- ❗ 輪郭生成を行わないで登録された外字をそのまま使用することも可能ですが、一部のグラフィックソフトウェアで使用すると文字が正しく表示されない場合があります。必ず輪郭生成を行ってから、文字を登録してください。







## 6 外字の登録

作成した外字は、ダイナフォントの外字領域(シフトJISコード F040-F9FC)に登録します。どのコードに登録するか指定できますが、指定しない場合はF040から順に登録されます。1書体あたり1880個の外字を登録することができます。



作成した外字は、登録時に指定したダイナフォントに登録されます。他社製外字エディタ等を使用してダイナフォントにすでに外字登録を行っている場合、その関連づけは無効になりますのでご注意ください。

### 6-1 作成した外字の登録

①[ファイル]-[出力]を選択します。[出力] ウィンドウが表示されます。

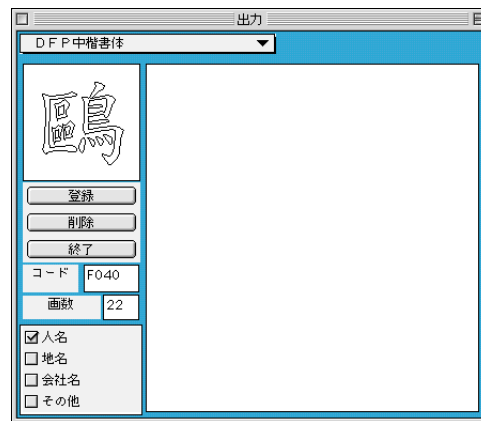


②登録範囲を設定します。

- ・登録する書体名を確認します。
- ・[コード]、[画数]を指定します。  
(設定しない場合、[コード]は空いているコードの順番に、[画数]は0となります)

す。記号等、画数がないものについては0を使用してください。)

- ・属性（[人名]、[地名]、[会社名]、[その他]）を選択します（複数選択可）。ここで指定した属性は作成した外字の属性として記憶されます。コードエリアには選択された属性を持つ外字だけが表示されます。
- ・作成した外字はコードエリアに画数順に表示されます。同じ画数の文字は文字コード順に並びます。



③[登録] ボタンをクリックすると、作成した外字がコードエリアに登録されます。



④登録し終わったら、[出力]ウィンドウのクローズボタンをクリックします。登録した外字は再起動後に使用できるようになります。



既に登録した外字と同じコードを指定して新たに外字を登録すると以前登録した外字は上書きされて使えなくなります。



DynaFont Gaiji Editorを再インストールして使っている場合、以前登録した外字が実際には存在しても[出力]ウィンドウには表示されません。どのコードに何の外字が登録されていたか確認の上、誤って上書きしないようご注意ください。

DynaFont Gaiji Editorを削除する際「DYNAFONT」というフォルダを捨てずに再インストールの際「DynaFont Gaiji Editor」のフォルダに入れてお使いになれば以前登録した外字も[出力]ウィンドウに表示されます。

## 6-2 終了

[ファイル] - [終了] を選択して、DynaFont Gaiji Editorを終了します。システムを一度再起動すると登録した外字を使用できるようになります。





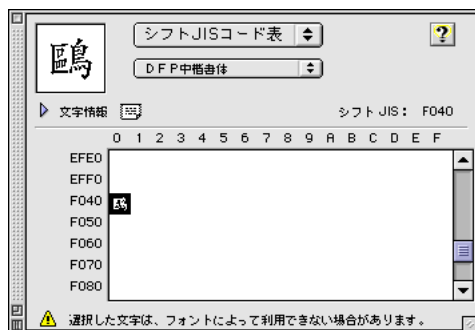
## 7 外字の入力方法

作成した外字はダイナフォントを使用できるアプリケーションにおいて使用できます。登録した外字を使用するには、システムを一度再起動する必要があります。

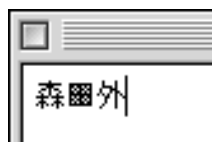
外字を入力する際は、日本語入力プログラムの提供する文字コード指定による漢字入力方法を利用します。登録した外字の文字コードを指定することによりアプリケーションに外字を送ります。また、多くの日本語入力プログラムは単語登録機能を提供しており、作成した外字を単語として登録すれば、「読み」入力により変換候補に作成した外字が現れ外字を入力することができます。

ここでは日本語入力プログラム「ことえり」を例に説明します。

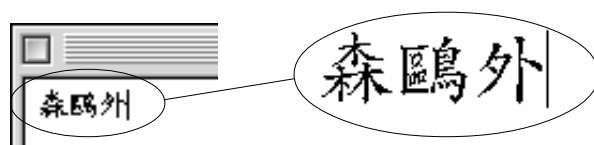
- ①文字パレットを表示します。
- ②外字を登録してある書体に変更し、シフトJISコード表で外字を登録したコード(外字領域はF040~F9FC)を参照します。



- ③使いたい外字を選択し、左上に表示された文字をクリックします。アプリケーションに外字が送られます(例は「シンプルテキスト」の場合)。



- ④ご使用のアプリケーション上で外字が登録されているフォントに変更します。入力した外字が表示されます。



- ⑤表示された文字を選択し単語登録しておけば、次回入力する際に直接読みから入力することができ、文字コードを再度参照する必要がなく便利です。

ことえり単語登録

登録 検索/削除

登録対象辞書: ユーザ辞書

読み: おうがい

単語: 園外

品詞

普通名詞  形容詞

サ変名詞  形容動詞

人名  数字列接尾語

地名  無品詞

品詞の説明

人の名前。(例：水野、アンダーソン)

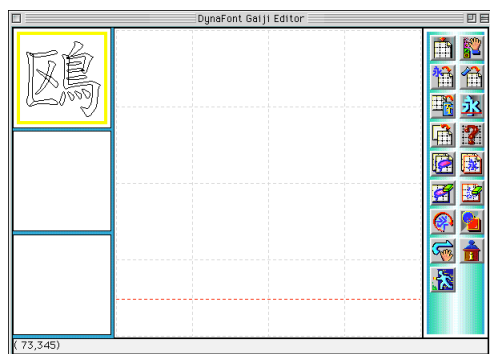
登録



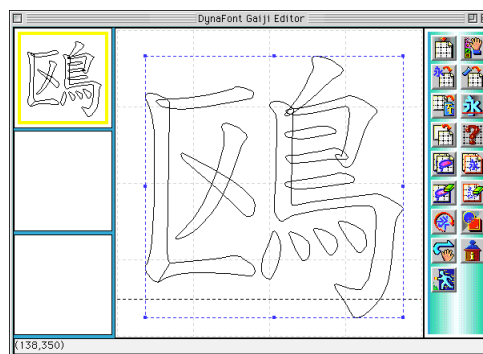
## 8 文字作成例

### 8-1 「鷗」「嘔」二つの文字を使って外字「鷗」を作成

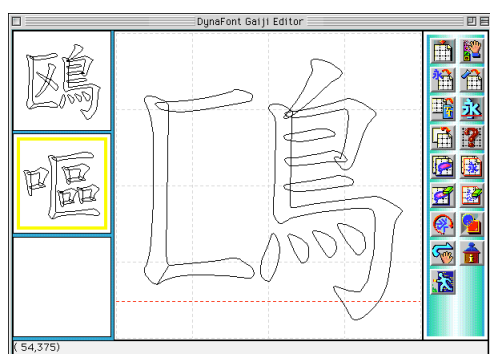
①「鷗」を入力エリア1に呼び出します。



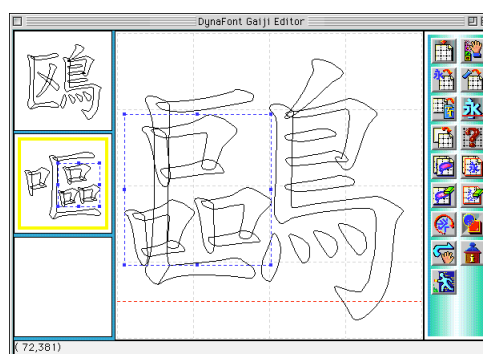
②編集エリアに[全範囲コピー]します。



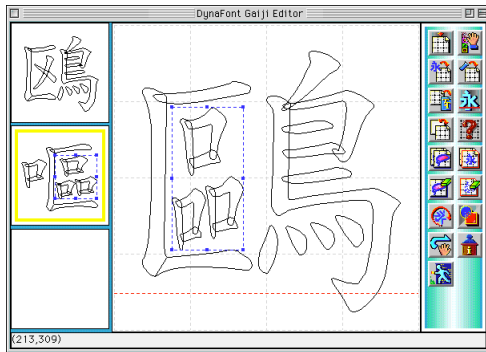
③ unnecessary parts are removed and '嘔' (O) is called up in input area 2.



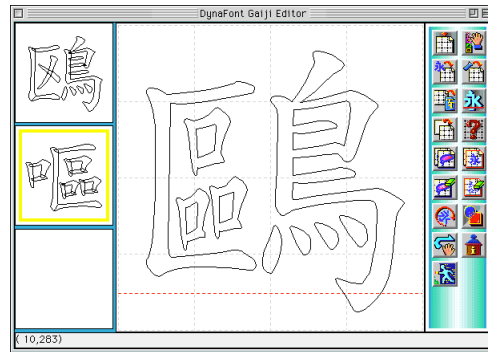
④ Refer to '嘔' and select only the '品' (Shin) part for copying to the editing area.



⑤他の部分とのバランスを見ながらコピーした部分を移動・縮小します。

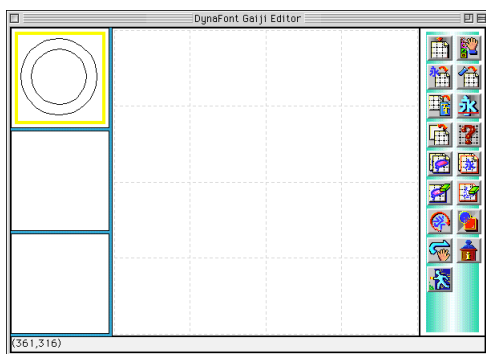


⑥編集が完了したら [輪郭作成] を行います。

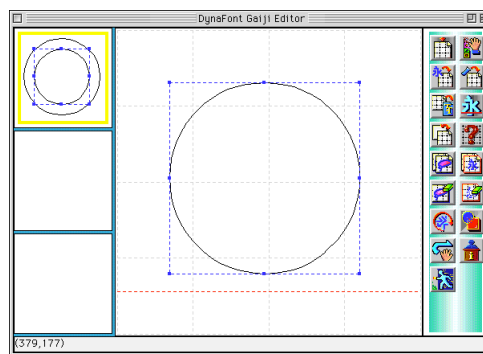


## 8-2 白抜き「②」を作成

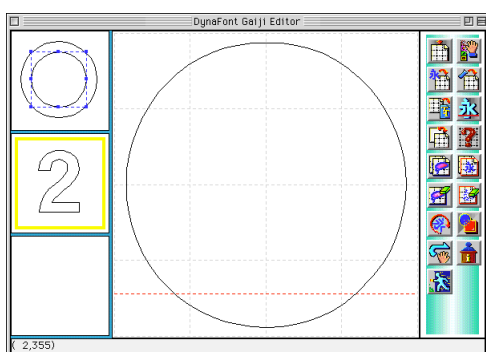
①「○」を入力エリア1に呼び出します。



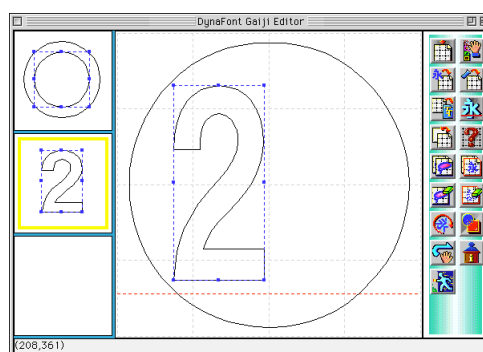
②「○」の内側の小さい「○」だけを選択し編集エリアにコピーします。



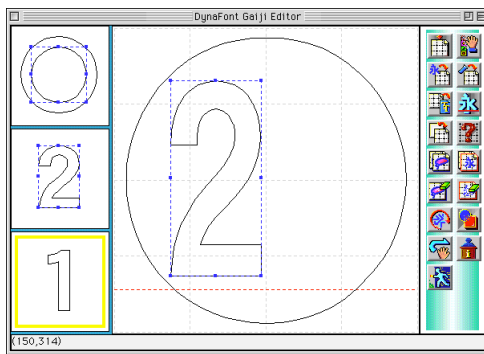
③編集エリアで大きさを整えます。入力エリア2に「2」を呼び出します。



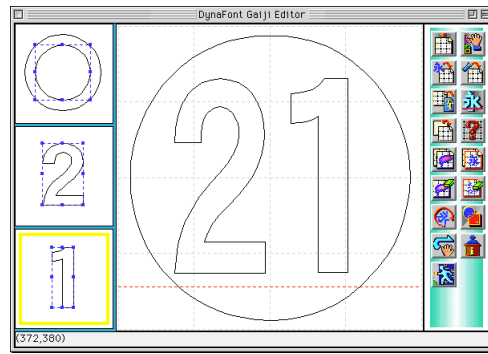
④「2」を編集エリアにコピーし、大きさと位置を整えます。



⑤入力エリア3に「1」を入力します。

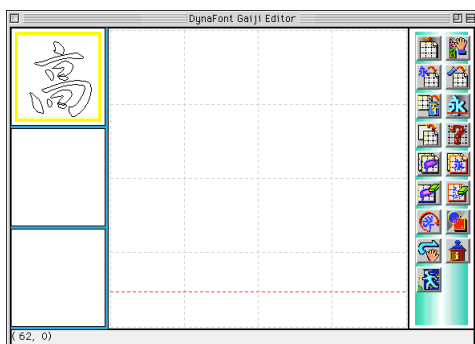


⑥「1」を編集エリアにコピーし、全体のバランスを整えます。

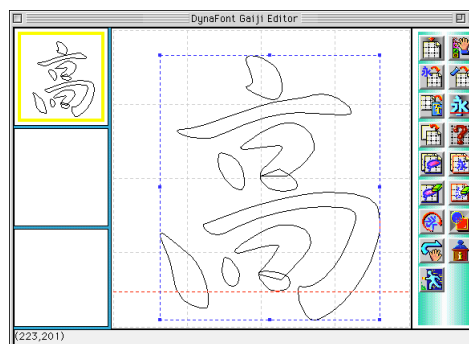


### 8-3 ストロークツールを使って外字「高」を作成

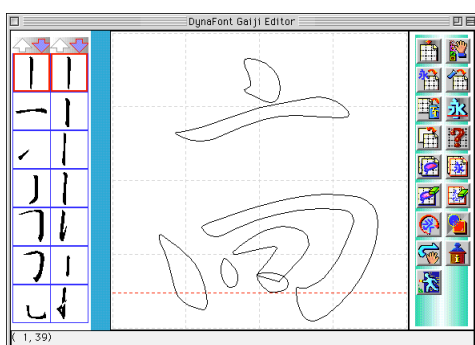
①「高」を入力エリア1に呼び出します。



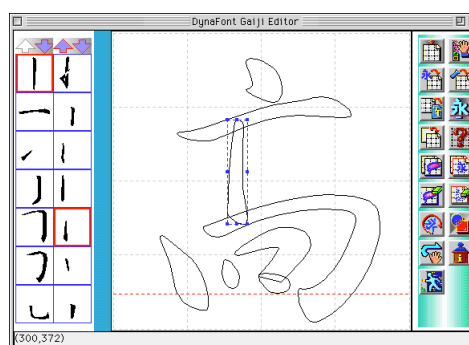
②編集エリアに全範囲コピーします。



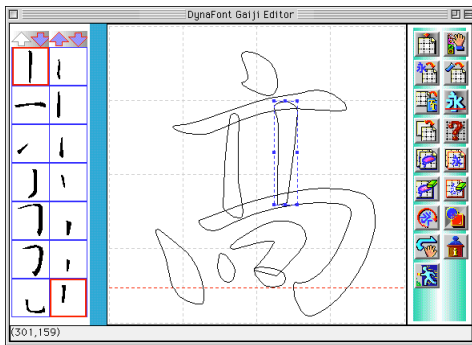
③ unnecessary parts are removed, and the stroke tool is displayed.



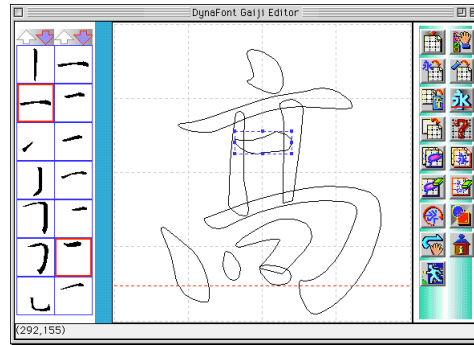
④ necessary strokes are selected and copied into the edit area. The overall balance is checked while adjusting the shape (④~⑦).



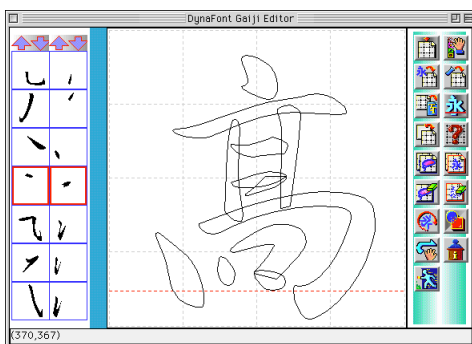
⑤



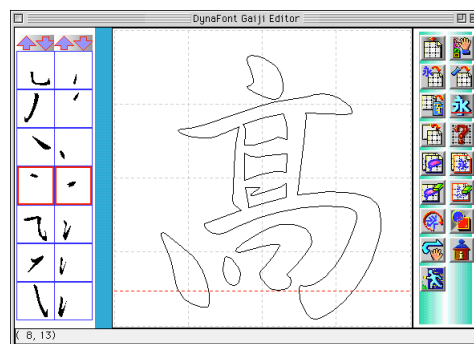
⑥



⑦



⑧編集が完了したら[輪郭作成]を行います。





## 9 カスタマーサービス

ダイナラブ・ジャパン株式会社では、ユーザの皆様のご質問に対応させていただくため、テクニカルサポートホットラインを開設しております。製品に関するお問い合わせにお答えしております。

DynaFont Gajji Editorをはじめ弊社製品をご使用いただくにあたり、疑問やご質問などがございましたらお気軽にお問い合わせください。

- 本サービスでは、お問い合わせの際に必ずお客様の製品番号(シリアル番号)が必要となります。パッケージに同梱されている製品番号(シリアル番号)のシールをCD-ROMケースまたはユーザーズマニュアルに貼り、お問い合わせの際ご利用ください。

### ダイナラブ・ジャパンテクニカルサポートホットライン

E-Mail    info@dynalab.co.jp                    (ご購入前の製品に関するご質問)  
              tech-support@dynalab.co.jp        (ご購入後の技術的なご質問)

FAX        03-3224-3474                    TEL        03-3224-3180

(サポート開設時間: 祝祭日および弊社休業日を除く月曜日～金曜日 10:00～12:00、13:00～17:00)

- 電話がなかなかつながらなかったり、質問の内容が複雑な場合はFAXまたはE-Mailのご使用をお奨めします。本書にはFAX用障害報告書が同梱されていますので、トラブルの場合には、それに記入しFAXしていただくと、サポートがスムーズに進みます。
- ダイナラブ・ジャパン株式会社の提供する各種サポートは、日本国内でのみご利用いただけます。

ダイナラブホームページで弊社製品に関する情報が御覧いただけます。

DynaLabホームページアドレス <http://www.dynalab.co.jp/>

**DynaFont Gaiji Editor  
for Macintosh**

**ユーザーズマニュアル**

1999年 5月 第 1 版第 1 刷発行

発 行 ダイナラブ・ジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-4 森崎ビル

©1999

Printed in Taiwan

本書の全部または一部について無断で複製、転載することは禁じられています。